

238 億 2300 万円

市民目線に立った、オンリーワンの 島原市の実現を目指して

平成31年度当初予算が決まりました。

平成31年度の予算編成に当たっては、継続事業で取り組んでいる新庁舎整備事業費をはじめ、本市の喫緊の課題である人口減少や地方創生に対応するために、「移住、定住、婚活」に重点を置いた内容としています。

- ① 市民目線に立った行財政改革の推進
- ② 産業の振興と島原地域ブランドの確立
- ③ 歴史と文化を生かした観光都市づくりと交流人口の拡大
- ④ 子育てにやさしいまちづくり
- ⑤ 高齢者や障害者など思いやる福祉の充実
- ⑥ 島原の将来を担う子どもを育てる教育の充実
- ⑦ 安全で安心して暮らせる快適なまちづくり

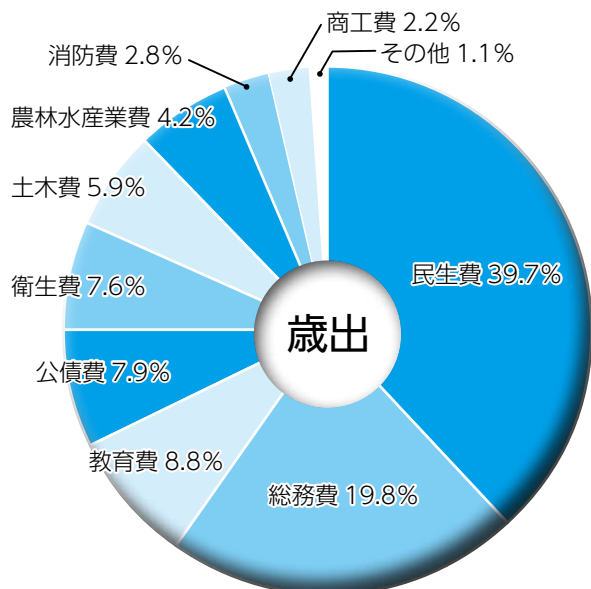
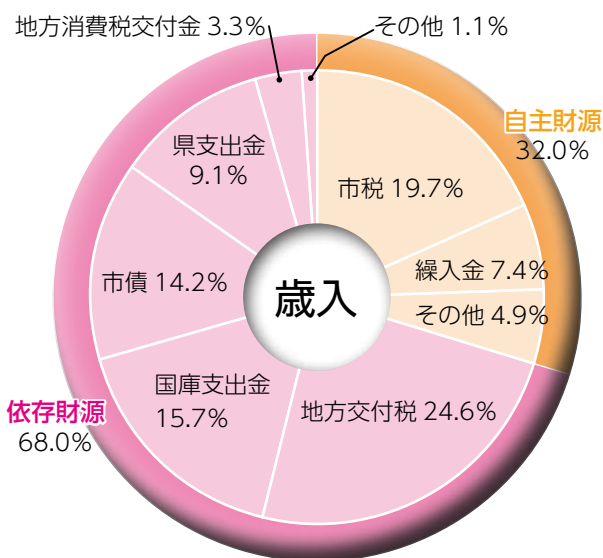
一般会計総額 238 億 2300 万円（前年度比4.2%減）

■歳入の状況

総 額	238 億 2300 万円
地方交付税	58 億 5000 万円
市税	46 億 7949 万 6 千円
国庫支出金	37 億 4861 万 4 千円
市債	33 億 6950 万円
県支出金	21 億 6876 万 1 千円
繰入金	17 億 6278 万 4 千円
地方消費税交付金	7 億 9000 万円
その他	14 億 5384 万 5 千円

■歳出の状況

総 額	238 億 2300 万円
民生費	94 億 6014 万 9 千円
総務費	47 億 2704 万円
教育費	20 億 9225 万 4 千円
公債費	18 億 9230 万円
衛生費	18 億 1375 万 7 千円
土木費	14 億 150 万 1 千円
農林水産業費	9 億 9456 万 5 千円
消防費	6 億 7797 万 5 千円
商工費	5 億 1360 万 9 千円
その他	2 億 4985 万円



一般会計当初予算

■市民一人당たりに使われる予算額

民生費



21 万 660 円

障害者福祉、児童福祉、高齢者福祉、生活保護など

総務費



10 万 5262 円

市の管理事務や企画、統計事務など

教育費



4 万 6590 円

学校・社会教育の振興、文化財保護、文化・スポーツの振興など

公債費



4 万 2138 円

公共施設整備などのために借りた市債の償還

衛生費



4 万 389 円

健康増進、母子保健、廃棄物処理、公害対策など

土木費



3 万 1208 円

道路、公園、市営住宅の整備・管理など

農林水産業費



2 万 2147 円

農林水産業の振興

消防費



1 万 5097 円

消防や防災事業など、市民の安全

商工費



1 万 1437 円

観光事業や商工業の振興、物産流通

市民一人당たり

約 53 万円



■市民一人당たり・一世帯당たりの負担額

負担額	一人당たり	一世帯당たり
市税	9 万 3 円	20 万 6350 円
市債	54 万 4423 円	124 万 8197 円

○市税…市民皆さんから市に納められる税金

○市債…特定の建設事業を行う際、その費用を賄うため銀行などから借りるお金

※平成 31 年 4 月 1 日現在の人口と世帯数（人口 4 万 4907 人、世帯数 1 万 9587 世帯）で算出

※市税は、個人市民税、固定資産税（交付金納付金は除く）、軽自動車税、都市計画税の予算額の合計で滞納繰越分を除いて算出。市債は平成 31 年度末残高見込額で算出

特別会計総額 75 億 9255 万円（前年度比 1.9%減）

会計別	予算額
国民健康保険事業	68 億 4874 万 6 千円
温泉給湯事業	1 億 2686 万 1 千円
後期高齢者医療	6 億 1694 万 2 千円

特別会計は特定の事業を行う場合や特定の収入を特定の支出に充てる場合に、一般会計とは別に、その経理を明らかにするために設けた会計です。

平成 31 年度の主な事業

新 = 新規事業

「市民目線に立った、オンリーワンの島原市」を目指す主な事業を、7つの施策ごとに説明します。

①市民目線に立った行財政改革の推進

- ・新庁舎整備事業 20 億 8575 万円
防災拠点としての機能やユニバーサルデザインを取り入れた新庁舎の整備を行います。
- ・ふるさとしまばら寄附金事業 3 億 1734 万円
- 新**・市税等クレジット収納導入業務委託 82 万円



新庁舎イメージ（北西側）

②産業の振興と島原地域ブランドの確立

- 新**・地場産業事業拡充促進事業 800 万円
新たに雇用を創出する事業であり、地域産業の振興に資する事業、もしくは地域課題の解決に資する事業にかかる費用の一部を補助します。
- ・企業立地促進・雇用創出事業 1512 万円
- ・畜産クラスター構築事業 2 億 5221 万円

③歴史と文化を生かした観光都市づくりと交流人口の拡大

- 新**・島原城築城 400 年記念事業 150 万円
2024 年に築城 400 年を迎えることから、島原城、城下町の歴史や文化を振り返り、次世代に伝承していくための事業を実施します。
- 新**・文化会館大ホール舞台施設整備工事 5350 万円
- ・豊後高田市友好親善訪問事業 182 万円



豊後高田市親善訪問団来島（平成22年）

④子育てにやさしいまちづくり

- ・すこやか子育て支援事業 1 億 664 万円
多子世帯の入所児に係る保育料を軽減することにより、児童福祉の向上や出生率の向上を図ります。
また、今年 10 月から国の幼児教育無償化に合わせて、第 2 子以降の無償化を完全実施します。
- ・小児の休日診療事業 2278 万円
- ・産後ケア事業 468 万円

⑤高齢者や障害者などを思いやる福祉の充実

- ・検診事業 8989 万円
がんなど疾患の早期発見・早期治療につなげ、がんの予防に関する知識の普及・啓発を行うことにより、市民の健康増進を図ります。
- ・高齢者福祉交通機関利用助成事業 2567 万円
- ・ねたきり老人等介護見舞金支給事業 885 万円

⑥島原の将来を担う子どもを育てる教育の充実

- ・小・中学校 ICT 推進事業 2 億 5823 万円
教育用パソコン（教室用・パソコン室用）の更新を図るとともに、児童生徒への操作説明や授業支援などを目的に ICT 支援員を配置します。
- ・小・中学校エアコン更新事業 1 億 1303 万円
- ・JFA こころのプロジェクト「夢の教室」295 万円



「夢の教室」（廣道 純先生による「ゲームの時間」）

⑦安全で安心して暮らせる快適なまちづくり

- 新**・コミュニティバス運行事業 3316 万円
高齢者をはじめ地域住民の生活に密着したコミュニティバスを運行することで、地域住民の利便性の向上、公共交通機関の利用促進、高齢者の社会参加の促進を図ります。
- 新**・可燃ごみ収集運搬業務委託（有明地区）1127 万円
- 新**・防災情報集約システム構築事業 4827 万円



民間委託による可燃ごみ収集（有明地区）

※「平成 31 年度当初予算概要」および「主要事業説明書」など詳しくは、市ホームページをご覧ください

島原市予算

Q 検索

▶ 問い合わせ先

総務課財政班（☎ 63-1111 内線 152）